

2018年6月

株主・投資家の皆様へ

シスメックス株式会社
代表取締役会長兼社長 家次 恒

第51期定時株主総会の第3号議案に関する補足について

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、2018年6月22日開催予定の第51期定時株主総会における第3号議案(監査等委員である取締役3名選任の件)における候補者番号2番(大西 功一氏)および3番(梶浦 和人氏)に関して、Institutional Shareholder Services,Inc.(以下「ISS」といいます。)が、反対を推奨しているとの情報を入手しました。

つきましては、当該議案に関して、下記のとおり補足させていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. ISS の反対推奨内容

大西 功一氏は、過去、当社の取引先である株式会社神戸製鋼所の出身であり、ISS の定める独立性の基準を満たさないことから、反対を推奨する。

梶浦 和人氏は、当社の現在の会計監査人である有限責任監査法人トーマツの出身であり、ISS の定める独立性の基準を満たさないことから、反対を推奨する。

2. 大西 功一氏が独立性のある監査等委員である取締役候補者であるとする理由

大西氏は、2014 年より当社の社外監査役として就任し、2016 年より当社の監査等委員である取締役(社外取締役)として、その経営者としての豊富な経験と幅広い知識を監査等委員の立場から当社の経営に活かしていただいております。

大西氏には、今後も経営の健全性・透明性の確保等のために社外取締役として重要な職責を担っていただけるものと考えております。

当社と株式会社神戸製鋼所との間には過去に1回(2012年7月)、不動産取引がありましたが、大西氏は、この取引に関与しておりません。

なお、当社役員との個人的なつながり等はなく、株主・投資者の判断に影響を及ぼすようなことや、一般株主と利益相反を生じるおそれもありません。

3. 梶浦 和人氏が独立性のある監査等委員である取締役候補者であるとする理由

梶浦氏は、当社と監査契約を締結している有限責任監査法人トーマツの出身であり、2016年より当社の監査等委員である取締役（社外取締役）として就任し、その専門性と見識を監査等委員の立場から当社の経営に活かしていただいております。

当社は、海外での事業活動の比重が高く、今後もグローバル化の推進に伴い海外事業の比重が高まることが見込まれるうえ、2016年度より国際財務報告基準 IFRS の適用を実施いたしました。このような中、グローバル経営におけるリスクマネジメントは一層重要となりますが、グローバル企業の事業活動や監査、リスクマネジメントに精通され、当社の海外事業も理解されている梶浦氏は、当社の社外取締役としてまさに適任であり、取締役会の健全性・透明性の確保や監査監督機能の充実等に、引き続き貢献いただけるものと期待しております。

梶浦氏は、監査法人トーマツを退職ののち5年以上を経過しており、当社役員との個人的なつながり等はなく、株主・投資者の判断に影響を及ぼすようなことや、一般株主と利益相反を生じるおそれもありません。

なお、近時においては取引先法人出身者の社外取締役に関する議案に関して、これを消極的に考える動向もございますが¹、当社としましては、梶浦氏が社外取締役として、上記のとおり、その専門性と見識をもって当社のようなグローバルに活動規模を拓げる企業の取締役会において助言・提案等をいただくことが、当社株主の皆様にとって極めて有益であると確信しております。

以 上

¹ 議決権行使助言会社 ISS 社 (Institutional Shareholder Services) は、取引監査法人出身者の社外取締役選任に関する議案について、クーリングオフ期間を設けず、原則反対推奨とする基準を有しているようです。ただし、同じく議決権行使助言会社であるグラス・ルイス社 (Glass Lewis) の基準では、3 年のクーリングオフ期間を経過していれば問題とはしない立場をとっております。